

# リウマチセンターだより

## 第12回リウマチ教室が開催されました

5月30日に第12回リウマチ教室が開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くの患者さんやご家族にご参加いただきました。今回は、関節リウマチの理解を深め、安心して療養生活を送るための知識や情報をテーマに、様々な講演が行われました。

講演1では、リウマチ・膠原病内科の藤井 渉先生より「関節リウマチにおける感染症対策」をテーマにご講演いただきました。関節リウマチでは治療薬の影響により感染症のリスクが高まるため、感染予防の重要性とワクチン接種について最新の知見を交えながら紹介がありました。

講演2では、リハビリテーション科学講座の入澤 寛先生より「関節リウマチ治療の進歩にあわせたリハビリテーション治療の変化」をテーマにご講演いただきました。薬物療法に加えて、適切な運動やリハビリを継続することが身体機能の維持・改善につながることを、様々な装具や自助具による補助治療など具体例を交えながらご紹介いただきました。

講演3の「患者さんの体験談」では、「全国膠原病友の会」栃木県支部代表の玉木 朝子さんよりご講演いただきました。同会の活動の歴史、行政との関わり、さらには今後の発展に向けた展望についてお話しいただきました。

講演4は毎年好評のリハビリ体操を行いました。リハビリテーション科の影山 晶一先生、高森 正祥先生のご指導のもと、自宅でも継続しやすい体操に参加者全員で実践しました。

全体を通して、参加者の皆様は熱心に講演に耳を傾けられ、質疑応答では活発な意見交換が行われました。今回のリウマチ教室を通じて、正しい医学知識の普及に加え、患者さん同士や医療スタッフとの交流の場としての意義を改めて実感することができました。今後もこのような機会を継続し、患者さんにご家族の療養生活を支える情報発信に努めてまいります。

来年も開催を予定しておりますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

リウマチセンター 吉田 雄飛

